

平成 28 年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	「エネルギー利用」技術作品コンテスト
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・黎 子椰
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越科学館、福井大学、新潟大学、信州大学 (担当者職名・氏名) 永井克行(上越科学館・館長)、塚本充(福井大学教授)、佐藤亮一(新潟大学教授)、西正明(信州大学教授)
4 事業の趣旨・目的	このコンテストは、児童・生徒たちが技術的な視点を持って自発的に「ものづくり」を行い、その結果を評価することにより、工夫しながら積極的に取り組める環境を提供し、あわせて、技術教育に関する広い理解の浸透を図ることを趣旨としている。 具体的には、風力、太陽光、電力などのエネルギーリソースを用いた作品を募集し、優秀作品を表彰し、展示する。
5 事業活動報告	<p>1. 募集期間 平成 28 年 8 月 20 日(土)～9 月 30 日(金) 一次審査 平成 28 年 10 月 8 日(土) 会場：上越教育大学 二次審査 平成 28 年 10 月 29 日(土) 会場：上越科学館</p> <p>2. 受賞作品の表彰式 日時：平成 28 年 12 月 10 日(土) 13:30～15:30 会場：上越科学館</p> <p>3. 受賞作品の展示会 日時：平成 28 年 12 月 10 日(土)～18 日(日) 会場：上越科学館</p> <p>4. 応募作品数、受賞作品数 応募作品数 小学生の部 76 作品、中学生の部 276 作品、高校生の部 31 作品 受賞作品数 小学生の部 35 作品、中学生の部 29 作品、高校生の部 13 作品</p>
6 本事業で得られた成果	<p>地球温暖化の原因をはじめ、エネルギー問題は地球的規模の大きな課題であり、それを解決する力が将来を支える子どもたちには求められている。そのためには、子どもたちがエネルギーに対して興味を持ち、自らの力で効率的にエネルギーを利用しようとする姿勢を醸成することが必要である。</p> <p>このコンテストには小学生の部 76 作品、中学生の部 276 作品、高校生の部 31 作品の応募があり、作品製作を通して子どもたちのエネルギー利用に対する考えが深まったと考えられる。</p> <p>また、コンテストの運営補助に本学学生が多数関わり、子どもたちの新鮮な発想や工夫に触れることにより、ものづくり学習への関心を高めることができたと考えられる。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	第 19 回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト 平成 28 年度作品集

提出期限：平成 29 年 4 月 14 日(金)